

- 1 日 時 令和7年6月27日(金)14時30分～15時15分
- 2 場 所 横須賀市役所2号館6階261会議室
- 3 出席委員 大場 保男 (中小企業診断士)  
渡利 恭明 (中小企業診断士)  
安食 静二 (INPIT 神奈川県知財総合支援窓口)  
鈴木 博明 (神奈川県 産業労働局 商業流通課 商店街支援指導員)  
島崎 恭光 (横須賀市 文化スポーツ観光部 商業振興課長)
- 4 事務局 文化スポーツ観光部 商業振興課 三本木主査、櫻井、熊野
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事内容

(1) 審査スケジュールについて ※資料2参照  
(事務局)

本日は、にぎわいづくりイベント事業2団体の審査を予定している。

(2) 審査方法について ※資料3参照  
(事務局)

【にぎわいづくりイベント事業】  
にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、  
より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。

(3) にぎわいづくりイベント事業 ※資料4参照

・上町商店街連合会 質疑応答  
(委員)

「うわまつり」の事業について、エコ活動に取り組んでいるとありますが、  
どのようなエコ活動に取り組んでいますか。

(上町商店街連合会)  
去年は、使わない洋服を集めて舞台の背景として活用したり、  
ハロウィンの仮装としてお化けの衣装を作ったりした。  
空き店舗になっている看板建築様式の建物を  
新規事業者にリノベーションして活用してもらえるように推奨しており、  
商店街全体がエコ活動に取り組んでいる形になっている。

(委員)  
子ども服の交換会等でエコ商店街としてのブランド価値を高めると良い。

(上町商店街連合会)

商店街店舗に無人のリサイクルショップがあり、  
お客様は多く入っていると聞いている。  
エコ商店街としてのアピールもしていきたい。

(委員)

「チケッタ」とはどのようなものか。

(上町商店街連合会)

使い方、遊び方、集め方が書いてあるチケットを  
200円で買ってもらい、首から下げる。  
これを目印にじゃんけんをしてチケットを奪い合い、  
10枚集めるとくじ引きができるというイベント。  
チケットをお店の方が首から下げているので  
必ず店舗とのコミュニケーションが生まれる。  
これによりお子様が困った時、例えばトイレに行きたい時や、  
物をなくした時に、店員さんに助けを求められるようになる。  
じゃんけんはどの年齢層にもできるということで発展させた。

(委員)

「うわまつり」を実施してどんな意見が出ているか。

(上町商店街連合会)

美容関係店舗でイベントに関係ないという声はある。

(委員)

「イケオジ」「美魔女」をつくる等のメイクアップ支援をしてもらい、  
メイクアップされた方にファッションショーに出場してもらえれば、  
「主人も同じようにしてほしい」というような  
意見を持つお客様との関連性は出せる。

他の商店街事例として、  
メイクアップした商店会長と奥様が手を繋いで出てきて大盛り上がりした。

(委員)

チケッタについて、ルールがわかりにくい部分があるので、  
事前に伝えるために SNS 等を使ってみてもいいと思う。

(上町商店街連合会)

事前に動画で発信したり、Instagramでの周知を検討したい。

(委員)

神社のお祭りを絡めて何かできないか。

(上町商店街連合会)

神社が2つあり、広いスペースもあるので、  
氏子さんも交えて何か企画ができる可能性はある。

・衣笠商店街振興組合 質疑応答

(委員)

三浦一族の活用以外に歴史と絡めて取り組んでいることはあるか。

(衣笠商店街振興組合)

具体的にはこれからだが、民間企業から相談をいただき、民間企業側の企画と衣笠商店街と歴史を絡めてイベントを実施する予定。また、衣笠小学校6年生が総合の授業で三浦一族と商店街について勉強しており、発表の場を設けるような企画を予定している。

(委員)

三浦一族は勝浦藩と関わりがあったので、それを利用して勝浦の子どもたちとZoomで勉強交流会等できないか。三浦一族が関連している地域であれば、この手法で交流することができる。その他、三浦大介義明は長寿の代名詞として「鶴は千年、亀は万年、三浦の大介百六つ」という言葉が広まっている。そこから、長寿や若返りをキーワードとした特産品開発もできるのではないか。

(委員)

グルメ桜祭りのマグロの解体ショーはどのようなものか。

(衣笠商店街振興組合)

神奈川県連携事業補助金を活用して今年度キッチンを作る予定。キッチンを活用し、「体験型イベント」として観光客も誘致できる企画にしたい。

(委員)

日曜日の商店街の閑散対策として、空き店舗やお休みのお店の前を活用して、朝市等のイベント実施してみるのはいかがでしょうか。

日々の買い物に寄与し、店舗も潤うようなイベントになると良い。

(衣笠商店街振興組合)

銀行と病院を利用する高齢者が商店街の主なお客様。銀行と病院は日曜日がお休みなので、人流が減ってしまい、他のお店もお休みになって閑散としている。

(委員)

大通り沿いは時間指定で駐車できるようにするといいかもしれません。

(衣笠商店街振興組合)

駐車場事業の収益が運営費に直結しているので、バランスが難しいところではある。

大通り沿いでタクシーをつかまえられるようにしてほしいという声もある。

(4) その他

(事務局)

今後の審査会スケジュールについては、後日調整をさせていただく。以上で、商業振興補助事業審査委員会(第3回)を終了する。

## 商業振興補助事業審査委員会 次第

日 時 令和7年6月27日(金) 14時30分～  
会 場 横須賀市役所 2号館 6階 261会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 商店街にぎわいづくり事業補助金の審査について

ア にぎわいづくりイベント事業

(2) その他

3 閉 会

## 商業振興補助事業審査委員会条例

## (設置)

第1条 本市の商業の振興を図るための補助金に対して交付申請のあった事業の審査に関し、市長の諮問に応ずるため、商業振興補助事業審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (組織)

第2条 委員会は、委員6人をもって組織する。

2 委員は、商業振興に関し専門知識を有する者及び市職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

## (会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

## (委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

## (その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

## 附 則

## (施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

## (経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱され、又は任命された委員及び部会員の任期は、平成26年3月31日までとする。

## 附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

## 商店街にぎわいづくり事業補助金交付要綱

### (総則)

第1条 地域の特性に対応した機能を高め、活力とにぎわいのある商店街づくりを進めるため、市内商店街団体が行う事業に対する補助金の交付については、補助金等交付規則（昭和47年横須賀市規則第33号。以下「規則」という。）に定めがあるもののほか、この要綱の定めるところによる。

### (定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 商店街団体 商業者等が地域的に組織した次に掲げるものをいう。

ア 商店街振興組合

イ 商店街協同組合

ウ ア及びイに掲げるもののほか、法人化された商店街団体

エ アからウまでに掲げるもののほか、任意の商店街団体で市長が認めるもの

(2) コミュニティスペース 商店街利用者の交流を図ることができる場所のことをいう。

### (補助対象事業)

第3条 補助の対象となる事業は、商店街団体が行う次に掲げる事業で、第1号に掲げる事業については原則として補助金の交付申請を行った年度内に完了するものとし、第2号、第3号及び第4号に掲げる事業については、補助金の交付申請を行った年度を含めて3年度までの間に完了するものとする。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

(1) にぎわいづくりイベント事業 次に掲げる販売促進を伴うイベント等の事業をいう。

ア まつり等の催物

イ 各種教室及び講習会

ウ 各種コンクール及び展示会

エ 期間を限定した大売出し

オ その他市長が適当と認める事業

(2) 集客力向上モデル事業 将来にわたって商店街の競争力や集客力強化を図るために、次に掲げる新規性や独創性のある事業で、かつ、取組みや効果に継続性や持続性があると認められるものをいう。

ア 子育て世帯（18歳未満の子が同居する世帯をいう。）の商店街利用を

促進するサービスの提供

イ 高齢者及び障害者が安心して利用できる商店街にするためのサービスの提供

ウ 商店街独自の商品の開発

エ 商店街活性化に関する事業計画の策定、事業の運営等に係るコンサルタントを活用

オ その他市長が適当と認める事業

(3) 商店街地域資源活用事業 商店街団体が各々の地域資源を活用し、当該商店街の活性化を図るための事業

(4) 商店街空き店舗活用事業 商店街団体が魅力や集客力向上のために、商店街内の空き店舗を新たに借り上げ、コミュニティスペースを作成し、年間を通じて様態を変えて運用する事業

2 前項第2号に掲げる事業にあつては、同一の商店街団体が既に補助金を受けた際の事業内容と類似した内容の場合は、補助の対象としない。

(事業の公募)

第4条 補助金の交付を受けようとする商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に希望調書を作成し、市長に申請するものとする。

(事業の選定)

第5条 市長は、前条の希望調書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めるときは補助対象の事業として選定するものとする。この場合において、市長は、必要に応じ、当該希望調書を提出したもの及び商店街の振興に関し専門的知識を有する者の意見を聴くものとする。

(補助対象経費)

第6条 補助対象となる経費(以下「補助対象経費」という。)は、前条の事業の実施に要する経費のうち、次に掲げるものとする。

(1) 施設及び設備の借上料

(2) 施設及び設備(第2条第1号エに該当する商店街団体が行う第3条第1項第1号、第2号及び第3号に掲げる事業にあつては、減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年3月31日大蔵省令第15号)で規定する耐用年数3年以内のものに限る。)の購入費

(3) 装飾費

(4) 印刷費(開催案内、宣伝ポスター等)

(5) 教材費(テキスト等事業の実施に直接必要なもの)

(6) 報償費(講師謝金、商店街モニター謝金等)

(7) 委託費

(8) 原材料費

(9) その他市長が必要と認める経費

2 前項の規定にかかわらず、補助の対象となる事業の実施に伴う事業収入の額及びこの要綱の規定による補助金と同様の趣旨の他の補助金等の交付（国、県その他団体によるものを含む。）を受けている場合における当該補助金等の額については、補助対象経費の総額から差し引くものとする。

(補助金額)

第7条 補助金額は、予算の範囲内において、次の表の左欄に掲げる事業区分に応じそれぞれ同表の中欄に定める補助金額（同表右欄に掲げる額を限度とする。）を合計した額とする。

事業区分	補助金額		補助限度額
第3条第1項第1号に掲げる事業	補助対象経費の総額 ÷ 3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第2号に掲げる事業	補助対象経費の総額 × 2 ÷ 3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第3号に掲げる事業	補助対象経費の総額 × 2 ÷ 3		100万円
第3条第1項第4号に掲げる事業	第6条第1項第1号のうち、空き店舗の借上料	補助対象経費の総額 ÷ 2	100万円
	空き店舗の借上料以外の経費	補助対象経費の総額 ÷ 2	50万円

2 前項の規定により算出した補助金額に1,000円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

(申請手続き等)

第8条 第5条の規定により選定された商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に補助金等交付申請書を提出しなければならない。

2 規則第4条第3号に規定する補助金の交付申請に添付するその他の参考と

なる書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 商店街団体会則
- (2) 商店街団体会員名簿
- (3) 当該事業の実施について議決した総会等の議事録の写
- (4) その他市長が必要と認める書類

(書類等の保管)

第9条 規則第8条に規定する書類及び帳簿等は、当該補助事業の完了した市の会計年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(実績報告)

第10条 規則第10条に規定する市長の定める書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業内容が確認できる書類
- (2) 商店街にぎわいづくり事業収支明細書（別記様式）
- (3) 補助対象経費に係る支払領収書の写
- (4) その他市長が必要と認める書類

附 則

この要綱は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

2 活き活き商店街サポート事業補助金交付要綱（平成20年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

2 空き店舗出店奨励金交付要綱（平成21年3月4日制定）は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成26年8月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別記様式（第10条関係）

商店街にぎわいづくり事業収支明細書

（収入の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
市 補 助 金			
自 己 資 金			
そ の 他			
計			

（支出の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
計			

# タイムスケジュール

資料 2

資料 NO.	時間	事業区分				団体名	事業名
		モデル	地域資源	空き店舗	にぎわい		
	14:30 ~ 14:35						開会あいさつ、審査会実施方法の確認 等
4-1	14:35 ~ 14:55				○	上町商店街連合会	・うわまつり2025
4-2	14:55 ~ 15:15				○	衣笠商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチDEラッキー抽選会</li> <li>・のど自慢大会</li> <li>・こどもの日イベント</li> <li>・七夕飾り</li> <li>・夕涼み会</li> <li>・健康長寿イベント「みんなでラジオ体操」</li> <li>・敬老の日抽選会</li> <li>・衣笠ハロウィン2025</li> <li>・歳末大抽選会</li> <li>・グルメ桜祭り</li> </ul>

## 1 商店街にぎわいづくり事業補助金 審査方法について

## (1) 補助金申請区分について

商店街にぎわいづくり事業補助金には、以下の4種類の申請区分を設けています。

## ア にぎわいづくりイベント事業

対象事業：商店街が賑やかしや集客などのため、主に定期的に取り組んでいる販売促進を伴うイベント等の事業。

補助率：1/3

限度額：200万円

## イ 集客力向上モデル事業 ※採択事業

対象事業：商店街が新たに取り組む、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る新規性・独創性があり、かつ取り組みや効果に継続性・持続性がある事業。

補助率：2/3

限度額：200万円

## ウ 商店街地域資源活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が既に商店街の地域内で認知されている本市地域資源を活用し、地域外へのPRを進め、商店街の活性化を図るための事業。

補助率：2/3

限度額：100万円

## エ 商店街空き店舗活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が魅力や集客力向上のために、新たに、商店街の空き店舗を借り上げ、それを活用してコミュニティスペース等を作成し、年間を通じて、様態を変えて運用する事業。

補助率：1/2

限度額：最大3年間の継続補助とする

	1年目	2～3年(予定)
家賃	100万円	100万円
家賃以外の経費	50万円	30万円

(2) 審査の実施目的について

申請区分ごとに以下の目的で審査を行います。

ア にぎわいづくりイベント事業

審査目的：採点を行わず、審査員からの意見や助言等を提供すること

イ 集客力向上モデル事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

ウ 商店街地域資源活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

エ 商店街空き店舗活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

(3) 採点方法について

別添採点表に基づき、4項目×各5点=20点満点で評価を行います。

審査委員の合計が70%を超えるものを採択します。

(例) 審査員が6名の場合、120点満点中84点を超えるものを採択

⇒ **70%を超える事業**

① 採択 (補助率 2/3) (採択にあたって条件を付すものを含みます)

⇒ **70%以下の事業**

② にぎわいづくりイベント事業に該当する事業 (販売促進を伴うイベント等の事業)  
⇒ にぎわいづくりイベント事業補助金の申請として受付 (補助率 1/3)

(4) 採点基準

4つの審査項目について5段階で評価します。

各項目とも「3」を採択基準ラインとします。

配点	審査項目への適合
5	審査項目の内容を十分に満たしている
4	⇕
3	審査項目の内容を概ね満たしている
2	⇕
1	審査項目の内容を満たしていない

# にぎわいづくりイベント事業 希望調書

資料 4

6月27日分

NO.	審査実施 時間	団体名	事業名
1	14:35 ~ 14:55	上町商店街連合会	・うわまつり2025
2	14:55 ~ 15:15	衣笠商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチDEラッキー抽選会</li> <li>・のど自慢大会</li> <li>・こどもの日イベント</li> <li>・七夕飾り</li> <li>・夕涼み会</li> <li>・健康長寿イベント「みんなでラジオ体操」</li> <li>・敬老の日抽選会</li> <li>・衣笠ハロウィン2025</li> <li>・歳末大抽選会</li> <li>・グルメ桜祭り</li> </ul>



※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
	うわまつり 2025
<b>実施目的</b> ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>地域住民と商店街のつながりを深め、商店街の回遊性・認知度を高めることを目的とした体験型イベントです。子どもやファミリー層を中心とした幅広い年代の来街者が楽しめる催しを通じて、商店街への来訪促進と地域コミュニティの活性化を図ります。</p>
<b>実施内容</b> (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>① 商店街オリジナルゲーム「チケッタ♪」：            参加費 200 円でパスケースとチケット 5 枚を受け取り、店主や他の参加者とじゃんけん勝負。チケットを 10 枚集めるとくじ引きに挑戦でき、豪華景品（ディズニーペアチケットなど）が当たります。全員に参加賞としてお菓子を配布します。</p> <p>② ファッションショー：            地元の子どもたちや一般参加者が主役となり、商店街をランウェイに見立てたファッションショーを実施。地域の衣料品店とのコラボも想定しています。</p> <p>③ 地域ステージ：            地域の学校、団体、サークル等によるダンス、演奏、パフォーマンスなどを披露するステージを設置。地域の才能と魅力を発信します。</p> <p>④ ハロウィンお菓子配布：            衣装した子どもたちに、商店街の各店舗でお菓子を配布。季節感のある演出で来街者の楽しみを広げます。</p> <p>イベント実施エリア：横須賀市上町商店街全域および特設ステージエリア            ・出店参加：商店街加盟店 約 20 店舗            ・ステージ・ショー出演者：約 100 名（地域団体、児童・生徒、ボランティア等）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場者想定：300～500名（主に横須賀市在住のファミリー層、子ども、若年層、高齢者まで幅広く）</li> <li>・ 商店街の回遊性・滞在時間の向上</li> <li>・ 店主と地域住民の交流促進</li> <li>・ 地元商店への関心・購買意欲の向上</li> <li>・ 子ども・ファミリー層への商店街の魅力訴求</li> <li>・ 地域イベントとしての定着と継続的な集客効果</li> </ul> <p>イベント終了後には参加者アンケートを実施し、満足度や商店街への来訪意欲などを把握。今後のイベント開催・商店街振興施策に反映していきます。</p> <p>工事の新着状況次第になりますが、旧うわまち病院駐車場を活用し以前行っていた綱引きや地域の方参加型の企画を考え中です。</p>
実施時期	2025年10月11日土曜日
実施場所	横須賀市上町商店街全域および特設ステージエリア
事業のセールスポイント	<p>地域の商店街・神社氏子・博物館・文化会館・NPO・地域住人のボランティアの方々が連携し一緒に盛り上げていただけるイベント。</p> <p style="text-align: right;">（にぎわいづくりイベント事業）</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業NO.					
広報手段	SNAの発信。Yahoo!ブログの「うみのとなり」さんに協力を依頼。ポスターやチラシ。タウンニュースさん。				
広報範囲	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">横須賀市内全域</td> <td style="width: 50%;">広報対象人数</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">20,000人</td> </tr> </table>	横須賀市内全域	広報対象人数		20,000人
横須賀市内全域	広報対象人数				
	20,000人				
前年度からの改善 (定例事業の場合)	<p>広報にうみのとなりさんに依頼。</p> <p>旧うわまち病院跡地の活用を検討</p>				

【目標】 商店街で掲げる目標	売り上げの5%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,000 人	通常時	600 人
今後の展開	旧うわまち病院の活用		
	病院移転が来街者数に大きく影響があり、跡地利用も未定のまま。このままでは、商店街だけでなく人通りが少なくなったことにより治安の悪化も心配される。イベントを通し地域の人との繋がりを保っていきたい。		
	商店街の空き店舗対策のためにも、跡地活用への革新的なアイデアが必要と感ずます。		
	商店街の力だけではどうにもならないこともあり行政の力も必要と感ずます。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	印刷費	160,000	ポスター・チラシ・チケット♪
	設備工事費	40,000	発電機
	報償費	200,000	運営委託費・景品代・ステージ代
	消耗品	220,000	ハロウィンお菓子・チケット♪用品・景品代
	会場借り上げ料	35,000	叶不動産駐車場・コインパーキング
	装飾費	180,000	ファッションショー備品
	その他	150,000	警備費・保険料金
合計	985,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい



※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ①	事業名
	① タッチ DE ラッキー抽選会
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	お買い物で貯めたポイントの利用方法のひとつとして、抽選会を実施すること で、お客様に楽しんでいただくと同時に、さらにポイントを貯めるために、 加盟店に足を運ぶ(お買い物していただく)流れを作り出す。 店主・従業員が高齢化であるため、ポイントでのお買い物をお断りしている店舗 でも、お買い物券の受け入れは行っているため、ポイントを有効利用できる。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	ポイントタブレットを使用したポイント会員様限定の抽選会。 衣笠ポイント 300 ポイントで 1 回抽選に参加。 当選賞品として、ポイント加盟店でのみ利用できるお買い物券 6,000 円・3,000 円・1,500 円・900 円・300 円分が当たる。 偶数月の月末 2 日間開催 (年 6 回) 1 開催あたり 200 本 (先着 200 名) 年間約 1,200 名参加。 開催ごとに季節の装飾を行う。
実施時期	令和 7 年 4・6・8・10・12 月 令和 8 年 2 月
実施場所	衣笠商店街サービスセンター
事業のセールスポイント	お買い物で貯めたポイントが数倍になることで、お得感を得られる。 賞品をポイント加盟店でのみ利用できるお買い物券にすることで、 ポイント加盟店の売り上げに繋げる。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ①			
広報手段	ポイント会員様レシートに詳細表示 街内ポスター HP SNS で告知		
広報範囲	衣笠商店街近隣	広報対象人数	8,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	ポイント加盟店が減少傾向であるため、1 店舗でも増えるようイベント等 を通じてアピールする。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1 開催 200 人×6 回	通常時	人
今後の展開	若い世代にもポイントを集めていただけるようなイベントを計画する。		
	高齢者にはチラシ、若い世代には SNS を積極的に利用し宣伝する。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	賞品代	1,300,000	
	広告宣伝費	100,000	
	お買い物券印刷	100,000	300 円のお買い物券作成費
	人件費	100,000	
	装飾代	1,200,000	
	合計	2,800,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ②	事業名
	②のど自慢大会
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	歌の教室や合唱、昼オケなどに通っている高齢者が多いことから、 商店街街路にステージを設け、発表の場としていただく。 昨年実施した際、出場希望者が大変多く、申し込み締切りを早めたため、 今年度より年 2 回の定例イベントとして行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	商店街街路にステージを設定し、のど自慢大会を開催する。 商店街加盟店でのお買い上げレシート 2,000 円分を添えて申し込む。 審査員による採点を行い、優勝者には 30,000 円分のお買い物券と トロフィーを贈呈。 実施時間 10:00~15:00 出場者数 約 40 名 観覧者 50 名以上 地元出身のお笑いタレントを MC に起用し、地元ネタなどで盛り上げて いただく。
実施時期	令和 7 年 4 月・11 月
実施場所	衣笠商店街 仲通り街路
事業のセールスポイント	商店街加盟店に賞品を提供いただくことで、お店の PR に繋げる。 参加者も観覧者も楽しめるイベントである。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ②			
広報手段	商店街内ポスター・チラシ HP SNS での告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	開催の告知が遅れたため、今回は早めに告知する。		
【目標】 商店街で掲げる目標			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	イベント参加人数 40 人×2 開催 その他観客 50 人×2 開催	通常時	
今後の展開	審査員に地元出身の音楽家を招き、演奏をご披露いただき お客様に楽しんでいただきながら、ご自身の PR にも繋げていただく。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	チラシ制作	50,000	2 開催分
	賞品代	80,000	2 開催分
	音響機器レンタル	120,000	2 開催分
	人件費	100,000	2 開催分
	合計	350,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ③	事業名
	③こどもの日イベント
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	ゴールデンウィークの来街者が毎年少ないため、5月5日のこどもの日に お子様向けのイベントを開催し楽しんでいただき、平日は仕事で来街でき ない若い層の保護者に商店街の店舗を知ってもらう。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	仲通商店街「ガレリア会館」1階を利用し、お子様を対象に 「バルーンアート」を無料で配布。 おえかき工房やりんごあめ・チョコバナナなどの模擬店を行う。 ぬりえ（無料）を楽しむスペースを設置する。 加盟店で300円以上のお買い上げでスタンプ押印し、会場でのお買い物 で「お菓子のつかみ取り」を実施。 対象人数 300人
実施時期	令和7年5月5日
実施場所	衣笠商店街
事業のセールスポイント	ゴールデンウィークに遠出できないご家族に、商店街で1日楽しんでいただく。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ③			
広報手段	小学校、幼稚園へのチラシ配布 HP SNS で告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	1,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	イベント会場だけでなく、店舗も巡っていただけるよう		
	お買い物スタンプラリーを実施する。		
	※スタンプコンプリートでお菓子つかみ取りに参加。		
【目標】 商店街で掲げる目標	来街者の高齢化が進んでいるため、若い世代を取り込むようなイベントを企画する。 商店街店舗を覚えていただくきっかけにする。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,300 人	通常時	3,000 人
今後の展開	ゴールデンウィーク中は来街者数が減少するため、イベントを実施し		
	来街者数を増やしていく。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	チラシ制作/デザイン	20,000	
	アルバイト代	20,000	
	バルーンアート	40,000	
	お菓子つかみ取り	30,000	
	消耗品	10,000	アルコール消毒液等
	合計	120,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ④	事業名
	④七夕飾り
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	近隣幼稚園・保育園との交流をはかる。 園児の作品を掲出することで、観覧に来られるご家族に 商店街でのお買い物も楽しんでいただく。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	近隣幼稚園に依頼し、園児に七夕飾りを作成していただく。 作成いただいた七夕飾りを商店街内に掲出する。 園児作品数 約 650 作品 観覧人数 約 5,000 人
実施時期	令和 7 年 6 月下旬～7 月中旬
実施場所	衣笠商店街全域
事業のセールスポイント	園児の七夕飾りを掲出することにより、季節感を演出でき、 商店街が華やかになる。 園児のかわいらしい願い事を楽しみにしている方が多くいらっしゃる。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ④			
広報手段	幼稚園へのチラシ配布 HP SNS での告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	5,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	作品が風に煽られるため、取り外すまで原形を保てるように配慮したい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	お子さまの作品を見に来られる方が探しやすいよう、園ごとに掲出する。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000人	通常時	3,000人
今後の展開	一般の方のお願い事を掲出できるような場所を作りたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	短冊制作費	60,000	
	材料費	30,000	ラミネートフィルム等
	掲出用ロープ他	10,000	
	合計	100,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑤	事業名
	⑤夕涼み会
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	七夕飾り（近隣園児作）の観覧を同時に楽しんでいただけるイベントを開催する。 商店街店舗が模擬店を行い、商店街全体で夏祭りの雰囲気を作り出し 季節行事として楽しんでいただく。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	商店街店舗による模擬店（カレー・焼きそば・ポップコーン・かき氷等） の他、ゲームスポットなどを設け、楽しんでいただく。 密集を防ぐため、大通りに面している店舗は自店前に出店する。 対象人数 5,000人
実施時期	令和7年7月
実施場所	衣笠商店街全域
事業のセールスポイント	七夕飾りを観覧に来られた方にそのまま夜店で楽しんでいただく。 商店街店舗の店主や従業員とのコミュニケーションをはかっていただく。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑤			
広報手段	新聞折込 幼稚園へのチラシ配布 HP SNS での告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	瓶の飲み物やアルコールの販売を制限し、安全に参加いただく。		
	列の整理や安全面を強化する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	毎年の恒例行事なので、来街者の安全を第一に開催する。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000人	通常時	3,000人
今後の展開			
事業費と内訳	費目	金額	備考
	チラシ印刷	20,000	
	アルバイト代	60,000	
	イベント保険	15,000	
	ごみ処理代	70,000	
	園児金券	35,000	
	合計	200,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑥	事業名
	⑥健康長寿イベント「みんなでラジオ体操」
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	「三浦の大介百六つ」で知られる三浦大介義明公にあやかり 来街された皆様と一緒に、商店街店主・従業員がラジオ体操を行い 健康長寿を目指す。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	来街者を安全な場所へ誘導し、店主・従業員と共にラジオ体操を行う。 終了後、スタンプカードに判を押す。 集めたスタンプ数に応じて粗品をプレゼント。 平日 15 時より街内放送にてラジオ体操を流す。 協力店舗の担当者がスタンプを押す。 告知用チラシやスタンプカード・スタンプに三浦氏の家紋や 「三浦大介百六つ」のイラストを使用する。 対象人数 5,000 人
実施時期	令和 7 年 4 月～
実施場所	衣笠商店街全域
事業のセールスポイント	来街者が楽しみながらスタンプを集め、粗品を得ることにより、「毎日参加したい」と思えるイベント。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑥			
広報手段	街内ポスター HP・SNS で告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	開始時間が午後3時からになっているが、夏場気温が高いため、 16時か17時開始の「サマータイム」も検討したい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	安全に楽しくラジオ体操を行い、スタンプを集めることで、衣笠商店街や三浦一族を知っていただく。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000 人	通常時	3,000 人
今後の展開	可能であれば、オリジナル体操（おおすけ体操など）へと発展させたい。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	宣伝広告費(チラシ代込)	20,000	
	粗品代	70,000	
	スタンプカード	40,000	
	合計	130,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑦	事業名
	⑦敬老の日抽選会
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	来街者の多く占める高齢者向けに、「敬老の日」のイベントとして 抽選会を行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	ポイント会員様を対象に三角くじを使用した抽選会を行う。 高齢者の好みに合わせたもの（生活必需品）を賞品とする。      対象人数 300人
実施時期	令和7年9月12日・13日
実施場所	衣笠商店街
事業のセールスポイント	商店街街路（店頭）で抽選会を行うことで、にぎわいを作り出すとともに、ポイントカード会員（新規）を増やす。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑦			
広報手段	商店街内ポスター・チラシ HP SNS での告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	景品が2年続けて同じ内容だったので、今年度は新しい物を 考えたい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	2日間の抽選本数 (500 本×2) を終わらせる。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000 人	通常時	3,000 人
今後の展開	今年度で3年目の開催なので、好評であれば定例化したい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	チラシ制作	30,000	
	賞品代	100,000	
	三角くじ代	10,000	
	人件費	20,000	
	合計	160,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑧	事業名
	⑧衣笠ハロウィン 2025
<b>実施目的</b> ・なぜ行うのか、 <b>必要性</b> ・実施の経緯	小学生以下を対象としたイベントを実施し、若い世代を取り込む。 イベントの中に「武者行列」を取り入れ、地元の歴史・文化資産である「三浦一族」を知っていただく。
<b>実施内容</b> (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	「小学生以下」「仮装している」を条件にスタンプラリーを実施する。 参加店舗でスタンプを押してもらい、コンプリートでお菓子詰め合わせをプレゼント。 事前に「キッズ甲冑隊」参加者を募集し、甲冑Tシャツを着用し武者行列に参加いただく。 対象人数 5,000人
<b>実施時期</b>	令和7年10月
<b>実施場所</b>	衣笠商店街全域
<b>事業のセールスポイント</b>	事前に販売するスタンプラリー用紙(500円で販売、当日の金券500円つき)が毎年売り切れる人気イベント。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑧			
広報手段	近隣の幼稚園へのチラシ配布 HP SNS での告知		
広報範囲	衣笠地区	広報対象人数	8,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年、ビル内で飲み物の瓶を割る騒ぎがあったため、模擬店での瓶の飲み物の販売を禁止し、安全に実施する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	ハロウィンに参加したお子様が、成長して、新たな「お客様」となるよう、思い出に残るイベントにする。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000 人	通常時	3,000 人
今後の展開	引き続き毎年の恒例行事にしていきたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	お菓子代	260,000	
	広告宣伝費 (チラシ)	20,000	
	消耗品	20,000	スタンプラリー用紙等
	撮影スポットの設置	200,000	
	武者行列	70,000	甲冑着付け等
	人件費	70,000	アルバイト代
	合計	640,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑨	事業名
	⑨歳末大抽選会
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	年末年始の必需品（カニ、肉、おせち、みかん等）商店街名産品 （どら焼き、クッキー、餃子、酒等）を賞品に抽選会（ガラポン） を行うことで、購買意欲を高める。 過去3年開催し好評だったため、定例イベントして定着させる。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	対象店舗のお買上げレシート 2,000 円ごと（レシート合算可）に 1 回抽選。 お一人様 1 日 20 回まで。 対象人数 8,000 人
実施時期	令和 7 年 12 月
実施場所	衣笠商店街全域
事業のセールスポイント	衣笠商店街の名産品（三浦一族にちなんだ商品など）や商店街お買い物券を賞品にし、衣笠商店街の店舗を知っていただく。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑨			
広報手段	折込チラシ タウン誌掲載 HP SNS で告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	イベント内容は参加者・対象店舗ともに好評をいただいているが、ガラポン 機器や玉が劣化してきているので刷新したい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街を利用される方々が楽しみにしているイベントなので、会場でもコミュニケーションを大切に、会話を取り入れ、何度も抽選に来ていただけるような接客を行う。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	8,000人	通常時	3,000人
今後の展開	商店街役員・職員・アルバイトスタッフだけで運営するのではなく、 店舗の方々にもお手伝いいただけるようなアナウンスを行い、 お客様との関りをより多く持っていただけるようにしていきたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	宣伝広告費(チラシ代込)	80,000	
	景品代	1,350,000	
	機器購入費	100,000	
	人件費	100,000	
	雑費	30,000	
	合計	1,660,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑩	事業名
	⑩グルメ桜祭り
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	マグロで知られる三崎に隣接していることから、マグロの解体ショーを 取り入れ、地域の方だけでなく観光客を誘致する。 地元出身のマグロ職人による解体ショーと、普段は見ることのない部位の 説明などを聞くことができる「体験型イベント」を楽しんでいただく。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	マグロの解体ショーとスタンプラリーを同時に行い、スタンプコンプリート の賞品としてマグロを振舞う。 対象人数 200 人
実施時期	令和 8 年 3 月
実施場所	衣笠商店街 ガレリア会館
事業のセールスポイ ント	本マグロ 1 本を仕入れるため、様々な部位を味わえる。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO. ⑩			
広報手段	折込チラシ HP SNS で告知		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	生ものの扱いに十分注意する。 用意したマグロ (200 食) をすべて振舞いきる。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,200 人	通常時	3,000 人
今後の展開			
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	宣伝広告費 (チラシ代込)	50,000	
	マグロ代	250,000	
	容器等	50,000	
	スタンプラリー用紙等	20,000	
	人件費	30,000	職人・アルバイトスタッフ
	合計	400,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい